

組紐・組物検定試験

組物検定は、組物を社会に広め、組物技術の向上と発展、技術指導者の育成を目的として、組紐・組物学会にて2010年度より設けられた検定試験です。性別・年齢・学歴等の制限はなく、またどの級からも受験することができますが、2010年度は4・5級試験のみ行います。試験は京都で行い、各級とも筆記と実技の試験が行われます。筆記試験は4・5級同じものを実施し、獲得点数により判定致します。

検定基準となる各級の技術到達度は以下のとおりです。

■ 5級：丸台と角台の8玉。

組物の基礎的な技能と知識があるか。

■ 4級：丸台16玉。

組物について専門的な技能と知識があるか。

■ 3級：クテ打初級、丸台24玉、綾竹台初級。

組物について専門的な技能と知識を持ち、丸台で創作組紐を作るなど、応用能力があるか。

■ 2級：クテ打中級、綾竹台、高台1枚物など。

組物について専門的な技能と知識を持ち、指導者の補佐ができるか。

■ 1級：クテ打上級、高台2枚物の綾書。唐組台の実技。

組物について高度な専門的な技能と知識を持ち指導する実力があるか。

【試験日】

筆記試験：2010年12月11日（土）13時から

実技試験：2010年12月12日（日）午前9時から12時まで、または午後1時から4時まで。実技試験時間やご持参頂くものは、受験お申込み後にお知らせ致します。

【申し込み受付期間】

2010年10月30日（土曜日）

【受験料+絹糸】7350円の予定（試験会場または10月のワークショップ会場でお支払い下さい）

【試験会場】

京都工芸繊維大学 総合研究棟4階（右の案内図を参照）

【申し込み方法】

電子メールまたはファクスに、郵便番号・住所・氏名・電話番号・受験級数（4または5級）をご記入の上、事務局までお申し込み下さい。組紐・組物学会会員はお名前だけお知らせ頂ければ結構です。

組紐・組物学会事務局：E-mail: inoda@kit.ac.jp

Fax: 075-724-7844

